

第5次西宮市総合計画後期基本計画策定に向けた 市民ワークショップ 報告書



令和4年12月
西宮市

1. ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

本市では、令和元年度から10年間のまちづくりの指針となる第5次西宮市総合計画において、「未来を拓(ひらく) 文教住宅都市・西宮 ～憩い、学び、つながりのある美しいまち～」を都市目標に定め、各種施策や事業を推進している。前期基本計画期間が令和5年度で終了するため、現在、後期基本計画の策定に向けて作業を進めているところであるが、今日の社会経済情勢の変化や新しいニーズへの対応等のため、前期基本計画に掲げる諸施策について必要な見直しを検討する予定である。

そうした中、今回のワークショップは、“どうなる・どうするデジタル化”“地球温暖化をなんとかしたい”“アフターコロナの暮らし・まちづくり”の3つのテーマを切り口として、これからの西宮市のまちづくりを市民目線で考える時間としていただくために、ワークショップを開催した。

(2) ワークショップの概要

① 開催日時等

日 時：令和4年11月12日(土) 14:00~16:00

場 所：西宮市立勤労会館4階 第8会議室(施設内託児所利用可能)

内 容：グループワーク形式

応募方法：インターネット経由、および、応募用紙での応募(郵送・FAX・持参)

応募人数：49名

参加人数：39名

② ワークショップのテーマ

- ・ アフターコロナの暮らし・まちづくり(2グループ)
- ・ どうなる・どうするデジタル化(2グループ)
- ・ 地球温暖化をなんとかしたい(1グループ)



③ ワークショップのプログラム

STEP 1：それぞれのテーマに関して「気になっていること」を出しあう(35分)

- ・ 桃色の付せんに「モニター結果等から気づいたこと」「テーマに関して気になっていること」
- 黄色の付せんに「身近でちょっといいなと思う、小ネタ」を書き出す(5分)
- ・ 書き終えた付せんを出しあい披露しあって、テーブルで内容を共有(30分)

STEP 2：ワンランク上をめざす西宮市のチャレンジを考える(35分)

- ・ さらに魅力と住みごたえのある西宮市にしていくために、みんなでチャレンジしようと思うアイデアを青色の付せんに書き出す(5分)
- ・ 書き終えた付せんを出しあい披露しあって、テーブルで内容を共有。また、テーブルで出しあった意見を仕分けて、小見出しをつける、矢印で結ぶなどして取りまとめる(30分)

STEP 3：アイデアをブラッシュアップして、プレゼンに備える(10分)

- ・ 最後にテーブルでの意見のまとめと、もう一段のブラッシュアップ(10分)

STEP 4：プレゼン。みんなで出しあったアイデアを共有する(20分)

- ・ 各テーブルで話しあった内容を、3分間で発表

2. ワークショップのまとめ

(1) アフターコロナの暮らし・まちづくり

Aグループ

●「モニター結果等から気づいたこと」「テーマに関して気になっていること」(桃色の付せん)

- ・ 市民のデジタル化に関する知識が少ない。
- ・ YouTube を見る時間増。
- ・ 電車少し人が減って乗りやすいかも。
- ・ 全体的にいい変化は少ない。行動制限や人との交流機会が減った影響が要因？
- ・ 余暇に関して悪い変化が大きい。集まる機会が減少したから。
- ・ 仕事、日常生活への影響が大きい。伝染することへの不安感が背景か？
- ・ 宝塚市、芦屋市ともっと連携すべき。
- ・ 苦楽園大丸地区。私道であるためにコミュニティバスも通らない。市はぜひ解決に英断を。48万人の市民の税金を800人のために使うべきか？公共性はあるのか？
- ・ 西宮市は行政範囲が広すぎて市民の利害を一致させることは容易ではない。
- ・ 六甲山系で日本海側と太平洋側に分断されている。
- ・ 勤め先は大阪市内で西宮市は帰るだけという方が多い。政治への関心は低い。
- ・ 市役所のため割り社会の度が強い。他課の業務について全く知らない。
- ・ 40年前は夏の気温が32度を超えることは稀であった。今は35度超えが当たり前。温暖化対策は世界的に急務である。
- ・ コロナに罹患した時、独居の方など買い物はどうされてたのか。関わりをどうするべきか。
- ・ 地域内のつながりづくりが必要と案じる。若い方が地域をどう思っておられるのか聞きたい。
- ・ 地区社協の活動をしています。コロナ禍で高齢者の老化が著しいと感じた。

●「身近でちょっといいなと思う、小ネタ」(黄色の付せん)



【情報】

- ・ オンラインとリアルハイブリットなイベント実施。
- ・ コロナ感染時の市民対応早見表。どうしたらいいかわからない。外出できない期間。
- ・ HP みても TEL してもつながらない。

【子供】

- ・ 子供の日常生活の改善（学校・マスク生活）
- ・ 子供を連れていけるイベントとか少し減った。

【コロナ拡大期、お店や行動のルール】

- ・ コロナ罹患時に分別化されるようになったその一覽西宮版のようなものを作成してはどうか？
- ・ コロナで営業してはいけない時間に営業していたお店があった。やめてほしい。
- ・ コロナ濃厚接触者の待機日数が長くその間仕事のしわ寄せを残った人の負担増となる。待機期間を短くするような動きを望む。
- ・ 旅行支援とか飲食支援はやめたほうがいいと思う。
- ・ PCR 検査結果を即日に出せるように改善を！
- ・ もうそろそろ脱マスクすべき。行政がビビりすぎ。
- ・ コロナにかかったときの食糧のサポート。
- ・ 学生の食糧支援をしたいと思っても情報を得る機会がないような気がする。



【地域活動】

- ・ 仕事がマイペースで取り組めるようになった。(リモートワーク)
- ・ 集まる機会が減ったので対人配慮への場面が少なくなる。同調圧力を気づかいすることがなく暮らしやすくなった。
- ・ 地区社協のサロン等の活動が始まった。参加者は「待っていた」「楽しい」と喜んで下さる。
- ・ 阪急新駅ができるのは住民にとってプラス。(武庫川駅)

●「みんなでチャレンジしようと思うアイデア」(青色の付せん)

【新しい技術】

- ・ SNS 等を用いて若者がアンケートに回答できたり政治に関心を持つきっかけづくりができる。
- ・ SNS への投稿。市民に開放し意見の共有の場をつくる。
- ・ 二酸化炭素濃度メーターを普及する。換気を意識づけできる。

【西宮スタイル(西宮独自)の情報発信】

- ・ 市民対応早見表をつくる(HP)
- ・ 特殊な状況になった時の市政の広報の充実。
- ・ コロナ感染時の保健所、病院の対応を早くすべき(体制補強)。電話も繋がらないと聞いた。
- ・ 市政運営において「西宮らしさ」「西宮方式」を考えて欲しい。
- ・ 初期の対策・中期の対策・長期の対策に対してシステムの構築をしておいてもらいたい。
- ・ 旅行支援等について財政問題が取り沙汰されているのに、違うお金の使い方を考えて欲しい。
- ・ 国からの指示をただ受けるだけではなく「西宮スタイル」を作る。

【コロナ禍でも交流を】

- ・ 市内 NPO 情報、活動の見える化。市民活動の参画機会を増やす。
- ・ 自治会の活性化(再編)、行政の伝達(マクロ)、地域の発信(ミクロ)、情報の単線から複線化(上下の交流)
- ・ 公的機会への接触機会を増やす。イベント開催。例えば、社協、3セク。
- ・ 目的・主旨：地域コミュニティの再生①「私設公民館開場予定(4月)」。主旨：音楽を通じた交流&地域の活性化②「みやっこ音楽回廊」(10月開催)を市内全域で開催。
- ・ 地域の高齢者&孤立者サポート。まちライブラリー&レコードサロン(社協・施設コラボ)
- ・ コロナによる市民の意識の変化がこわい。(外出を控える)
- ・ 子連れで楽しめるイベント実施。
- ・ 市はコロナを口実に安易にお祭りやイベントを中止すべきではない。
- ・ 転入の人と既存の人との繋がる場。
- ・ 人が集まれる場所の確保。



【集まる拠点づくり】

- ・ 緊急時の拠点（旧幼稚園活用）
- ・ 地域の幼稚園は今使われていない。それを地域に開放してほしい。
- ・ ゆるく多世代がつながれる場があるとよい。

【その他】

- ・ 西宮の強み、資源とは？芸文は残念ながら県。ふるさと納税の返礼品何？日本酒？
- ・ 公園の花壇づくりを始めた。地域の方が声をかけてくれる。青空つどい場ができたらいいな。
- ・ 新しい産業の開発。最近神戸市が「リン」を作り農業に活かしているニュースを見た。SDGs。
- ・ 市内全面禁煙化を。高齢化対策に予算を。



Bグループ

●「モニター結果等から気づいたこと」「テーマに関して気になっていること」(桃色の付せん)

【働き方が変わった】

- ・ アフターコロナの「仕事」に関して良い変化と悪い変化に意見が分かれている。
- ・ 在宅勤務など働き方変革で家族と過ごす時間が増えてよかった（そう思わない人もいる？）
- ・ 人との関わりの強いセラピストとして数年働けなかった。

【コロナでコミュニケーションが難しくなった】

- ・ アフターコロナの価値観に関して「人付き合い」がどう変化したか気になった。
- ・ コロナで気づいた事。会話が聞きとりにくくなった（コミュニケーションが難しくなった）。
- ・ コロナが解明されるにつれて恐れず友人にも会いやすくなった。
- ・ 学校とのコミュニケーションが難しくなった。
- ・ コロナによる行動制限が大人<<子供。子供の暮らしやすさを取り戻してあげたい。
- ・ 子供たちの声が聞こえにくくなってきて気になる。
→デジタルとどう関わる。
- ・ 間接的なコミュニケーションが増えた。
- ・ 家族の会話は増えたが、他の人とのコミュニケーションの取り方に差ができた。



【高齢者へのサポートの必要性】

- ・ 高齢者の DX の対応の遅れ。
- ・ コロナのため認知症が進んでしまった人もいるが、ようやく外に出れる。

【情報の格差の拡大】

- ・ コロナを含めてよりそった情報をどう出していくか（何をどう使う？）
- ・ 手続きが非接触型になった。
- ・ 施策の見える化が不十分。
- ・ デジタル化。マイナンバー普及はほんまに大丈夫。
- ・ 情報発信の認知度が低い。

【自分の時間の使い方が多様になった】

- ・ 施設の有効利用。マルチユースを検討してほしい。特定利用だけでは廃れる。
- ・ コロナの間はスポーツジムなど行けなくなった。その分自己スポーツが盛んに。
- ・ 十分な距離を保ちながら全世代の人が集い遊べるようなスペースが欲しい。
- ・ 人の集まっていない溪谷や山など遊びに行けた。

【その他】

- ・ コロナ騒動はいつまで続くのか！？
- ・ 温暖化。意識の高さバラバラ。



●「身近でちょっといいなと思う、小ネタ」(黄色の付せん)

【健康に気を遣う】

- ・ モニター結果同様コロナ問題で食事や健康に気を付けるようになったのは良い変化。
- ・ タンパク質・鉄分のお料理が多くなった。
- ・ 泉大津市のように子供の給食費無償化より無農薬自然農法の食料を使うのはいいと思う。

【情報の発信方法】

- ・ 文字での表示を多くする。
- ・ 学校からアプリの活用で情報が増えた。
- ・ 様々なハンディへの対応を増やす。

【ハード面の充実】

- ・ 高架下の有効活用。子育て世代が一日中過ごせるスペースを京都で見かけた。
- ・ ソフト面の充実が進むがハードが追い付かない。

【その他】

- ・ 相手の真意が読み取れなくなった。
- ・ 友人とより家族と旅行へ行く人が多くなった。
- ・ 自分の思いを伝えるのが下手になった。
- ・ 西宮の良さを意外に実感できなかったが、他県から来た人にイイネ！街を見直す。
- ・ アフターコロナ「やっとマゴマゴ」
- ・ SDGS の勉強会をして高校生たちの未来を思う地域を考える力に。良い意味でびっくり！
- ・ メールで全て済ませようとするようになった。

●「みんなでチャレンジしようと思うアイデア」(青色の付せん)

【コミュニケーションの再構築】

- ・ 情報の精度を上げる。受け手も出し手もこれからは全員が情報発信者。SNS で市民交流。
- ・ 市が発信する情報の認知を工夫。どうすれば……。
- ・ 高齢者への情報ツールの（無償）提供。
- ・ 若者向けのコミュニケーションをとる場や交流の場を増やす。
- ・ 西宮市民向けの SNS の交流の場があったらいいなと思う。
- ・ PDF 等で学校からのお手紙をアプリから見れるようにする。
- ・ 定年退職後といってもみんな元気です。バンドを組むとか定年退職後の楽しみがたくさんある。（西宮づくり）
- ・ 若者が高齢者に対してスマホの使い方を教える会などを開催する。
- ・ 幅広い年代が集えるようなイベントの開催。
- ・ 相手の顔を知りたい。マスクを外しての交流の場ができたらいいと思う。



【子育てサポート】

- ・ 子供たちにマスクを全員外してみる練習をする。行政から提案する。
- ・ 施設入所等の高齢者と動画面会が出来るようにする。Zoom、Line 等で職員と共有する。
- ・ コロナの中、人との関わりが少なくなってしまった老人ホーム施設に介護士などだけではなくトリートメント分野の出入りも認めてほしい。
- ・ 外出機会を→阪神間連携、交通補助・世代間のイベント→SNS。
- ・ 子供の多い市にしたい。明石市のように子供がたくさんいても安心な市にしたい。
- ・ こども園人手不足と聞いています。主婦（子育て経験者）も OK に。

【健康に気を遣う】

- ・ 値段が高くても安心・安全な食材を買うようにする（安かろう悪かろうからの脱却）。

【まちづくりを明確に】

- ・ 都市ブランド、シティプライドの意識高く！
- ・ 「暮らしやすい」「住みやすい」「子育てしやすい」を本気で考える。意識と意志の共有と拡散。
- ・ 全国で仲間と海岸清掃・河川清掃など毎月実施。是非西宮市から兵庫県に広げてもらいたい。
- ・ 海外姉妹都市との交流促進。グローバルで世界を一つにではなく、インターナショナルで国際（地域間）交流を！！

【交流を盛んに】

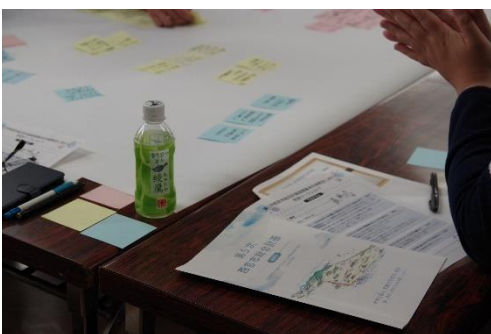
- ・ 行政 スペースの有効利用→子供たちへのアプローチ・有償ボランティア、運動、勉強（歴史）
- ・ コミュニティスペース、公園、憩いの場の拡充。
- ・ 文字と会話の併用をする。聴覚障がいがないでもコミュニケーションをとりやすくする。
- ・ 公園が全てとても寂しそうに見えます。外遊びでの交流を子供に与えるために何が課題か？
- ・ 公共・交通手段で行きやすいように市政ニュースなどでお知らせする。公園・ひろば等。
- ・ セキュリティの充実。街中に警備員。



(2) どうなる・どうするデジタル化

Cグループ

●「モニター結果等から気づいたこと」「テーマに関して気になっていること」(桃色の付せん)



【動機づけ】

- ・ コロナで必要性が（デジタル）高まっている今市民全体に意識してもらうには？
- ・ デジタルは目的じゃなくて手段。
- ・ 色々と取り組むチャンス。
- ・ 夢を描いてデジタルを活用して、どう実現するか。

【リーチできていない】

- ・ デジタルによる情報発信が届いていない届かない「わからない」が36.0%。
- ・ 知らしめられていない！

【デジタルの必要性】

- ・ デジタル化を市に期待している「特にない」が6.3%。
- ・ 現状のサービスで満足している（課題を感じていない？）
- ・ 地域コミュニティ、ICT化が必要→新しい自治会？
- ・ 行政とデジタルの関係強化必要。
- ・ 行政手続はマイナによるオンライン化推進。
- ・ 仕組みのシンプル化（手続き、意思決定のプロセス）
- ・ 市役所に行かなくてよいように。

【リテラシー・意識】

- ・ デジタルという言葉で拒絶？！
- ・ デジタル化とは分からない。
- ・ お年寄り・子供は、使いづらい。
- ・ サービスを使用している層（年代）は、どこが多いのか？
- ・ 日常生活の中にデジタル（ネット・スマホ）使われていない。
- ・ 質問自体が漠然で「知らない」は当然。

【リテラシー・意識（デジタルって？）】

- ・ 市民のインターネット使用状況。
- ・ デジタルに興味はあるけど、わからない。
- ・ デジタルで何が便利になるか分からない人が多い。

●「身近でちょっといいなと思う、小ネタ」(黄色の付せん)

【リテラシー・意識（デジタルって？）】

- ・ セキュリティ教育（一般向け）

【情報発信】

- ・ QRコード。
- ・ HP等や紹介ページにリンク。
- ・ SNS、インスタグラム、Twitter、Line、TikTok。
- ・ 多様な受け手を想定したSNSを活用。

【デジタルを活用した関わり・コミュニケーション】

- ・ Zoom。
- ・ 市民同士、行政と市民のコミュニケーション。
- ・ 回覧板は電子化。
- ・ ペーパーレス。
- ・ オンライン授業併用。



【デジタルを活用した行政サービス】

- ・ バスの現在位置をリアルタイムで表示。
- ・ 市とつなぐタブレットの配布（子供のように貸し出し）
- ・ YouTube を使った How to 配信。
- ・ Web から投票→・開票、集計が早い。人手がかからない。オープンな結果。
- ・ 順番待ちの掲示板を YouTube で LIVE で流している市がある（低コスト、スピード）
- ・ e-Tax の利用・活用。
- ・ 水道リアルタイム。
- ・ 高齢者は市の支援でモバイル推進。

● 「みんなでチャレンジしようと思うアイデア」（青色の付せん）

【デジタルを活用したまちづくり】

- ・ AI×都市交通・信号の最適化・横断歩道のデジタル表示化。
- ・ 大学・産学連携、自治体プラットフォーム開発。
- ・ 西宮特産×DX。フルデジタル日本酒。米作り→醸造→マーケット→販売までフルデジタル。
- ・ デジタルツインによる先を読める街に（レジリエンス・ビジネス）←まずは計画づくりから。
- ・ デジタル西宮市民人口 100 万人（経済・文化・情報）
- ・ 市民病院のオンライン診察。

【デジタル×学校・教育】

- ・ 学校行事にオンラインで保護者が参加。
- ・ どこでも誰でも同じ教育！先生の労働時間短縮。
- ・ 学びの開放（小・中・高・大）全ての教育コンテンツに触れられる。
- ・ オンライン参観。
- ・ 姉妹都市との連携・国際都市・多様性
- ・ オンラインで交流を！！

【デジタルを活用した関わり・コミュニケーション】

- ・ ICT をベースとした新しい自治会→防災・福祉等の観点。
- ・ SNS 活用で問題解決→住みやすさ地域交流 UP！
- ・ ちょっとしたお困り事を市民間で助け合う（公式の SNS 上で等）

【環境の整備（インフラ）】

- ・ タブレット普及→デジタルに触れるチャンスを！
- ・ デジタルに触れあう親子が子世代のワークショップ開催（行政が）
- ・ スマホ、タブレットの利用講習会
- ・ 市内全域 Wi-Fi 化。

【デジタルを活用した行政サービス】

- ・ タブレットで行政手続や行政サービスをできるように。
- ・ 時間と場所を問わない、サービス・情報の提供。



Dグループ

●「モニター結果等から気づいたこと」「テーマに関して気になっていること」(桃色の付せん)

【市が何やってるか分からない】

- ・ ハンコ、紙が必要な業務が多いのでは。
- ・ 市政にとどまらない情報の窓口にならないと日々アクセスしなくなる（病院・学校・民間イベントなどを）
- ・ 西宮市は国内ではとても先進的。実験的に DX しているというインパクトがあると加速する！
- ・ HP の進行複雑でムズカシイ。
- ・ いっそのこと全て紙をなくし、全てリモートでやろうとしてみたら？
- ・ SNS 等にどんな情報が載っているか市民はよく知らないのでは。
- ・ 内部事務を簡潔にしてるか？
- ・ 情報漏洩リスク考える。
- ・ そもそも市民はどれぐらい SNS を見てる？



【具体的に DX とは何か分かりづらい】

- ・ DX で社会改革イノベーションって言うが、実際にどのような社会になるかイメージできない。
- ・ デジタル技術についてイメージばかり先行して実際の活用方法についてアイデアが乏しい。
- ・ マイナカードの利用促進を阻んでいるのは何なのか？→もっとフル活用すればいいのに。
- ・ デジタル化で内部事務が効率化すると市民にとって何が良くなる？
- ・ なぜ日本はラインだけ？選択肢を！（市も）
- ・ デジタルの困ったところはどこ？
- ・ デジタル化、DX とよく言われているが、市民生活にどのように役立つかわからない。
- ・ アナログのいいところはどこ？

【分からないから不安】

- ・ 先端技術について受け入れられにくい風潮がある。
- ・ スマホ・パソコン・インターネットを使えない人はどうするの？
- ・ 技術的安全性が少し心配。

●「身近でちょっといいなと思う、小ネタ」(黄色の付せん)



【デジタル環境の底上げ・支援】

- ・ 地デジ化の時のクーポン券のように、スマホ、必携への推進等を！
- ・ 新しい技術に触れるチャンスを増やす（体育館など）

【色々な手段を用意する】

- ・ 掲示板を利用する 60 代以上（回覧板も）
- ・ WhatsApp など無料になったらしいので。
- ・ 電光掲示板で多くの人に情報を見せよう。

【事例をもとにアイデアを生み出す】

- ・ VR による公共サービス（USJ の例）
- ・ JR 東日本の改革について（ゲート）
- ・ 公園でやりたいことを募集して、その告知を SNS で市長の代わりに行う。
- ・ 過疎地域でタブレット端末を各世帯に配布し、リモート連絡したり、診察したりしている。
→過疎でなくてもやろう！
- ・ ある銀行の HP わかりやすい。
- ・ 道路のへこみ等、悪いところを写真にとって SNS で報告。
- ・ 神戸市のセミナーでお年寄りにスマホを教える会があった。
- ・ アバターによる社会貢献。
- ・ 北九州におけるデジタル分野への取組。

●「みんなでチャレンジしようと思うアイデア」(青色の付せん)

【市民主体・市民発信】

- ・若い世代が周りに発信。
- ・市がしてくれるでなく、自分が何が(を)市にできるか。
- ・市民が自らイベント等発足し、それをデジタル技術で手助け。
- ・市民が SNS 上で目立つと、市内で有名人になれる仕組み。
- ・市民から情報が集まる場を作り、「いいね！」が多かったり実現するとインセンティブをあげる(減税とか特産品とか)
- ・市内の情報に分野に精通した人がいて、この人に聞けばいいという流れが出来たら(口コミのパブリック化)

【人材を育て市民の思いを受け止める】

- ・レベルの高い人材を育てる！良い人材を登用する。
- ・副業者(デジタル専門家)の活用。
- ・地の利を活かした大学の教育機関を活用してデジタル教育、機会の確保。

【よりよい成果を見せる】

- ・資料のデジタル化、後世に残す。
- ・展示会などのイベントを VR 化。再利用性アップ。テナント料ダウン。
- ・ユーザーライクな HP や窓口→AI 化も。
- ・1つの投稿が主流 SNS (LINE、Facebook、Twitter、インスタ、TikTok 等) に自動的に同時配信する仕組み。
- ・以上のことが住みやすいと評判になって西宮市が人気の街になる。



(3) 地球温暖化をなんとかしたい

Eグループ

●「モニター結果等から気づいたこと」「テーマに関して気になっていること」(桃色の付せん)

【ゴミをへらす。分別、リユース活動 SDGs を西宮に】

- ・ コンポスト、生ゴミを減らす⇒学校で畑作り。
- ・ ゴミ処理機の補助金。
- ・ 裏紙を活用しよう。チラシの裏も使える。
- ・ 制服をお下がりできるような仕組み。
- ・ リユースのしくみ。先日市政ニュース、Twitter でリサイクル→メルカリ。子どもグッズを市内で回す。
- ・ ゴミ分別後の回収された後、どういう処理されているか広報。
- ・ ゴミを減らす為、分別やリサイクル。無駄に買わない。
- ・ ゴミ袋、大中小を使い分けよう(チラシ、ペットボトル、新聞) 分別しよう。
- ・ 夙川のゴミ箱が順次撤去され川にゴミを捨てるケースが増えている。
- ・ リサイクルプラザ、うまく運用?活用?出来ているように感じられない……。
- ・ ゴミの分別など地味なことをしていても世界レベルで良し悪しあれば、あまり意味がないのではないか。
- ・ 西宮市民の取組が国や他国を動かすムーブメントになればと思う。
- ・ ゴミの分別、3R 活動の推進。
- ・ プラゴミの分別がきちりできていない人いるのでは?



【知る機会 つながり・交流】

- ・ 現在の市の環境に対する取組を理解していない。
- ・ 高齢者はスマホも持っていない人が多数いる。すべてデジタル化は危険。

【地産地消】

- ・ 食品ロスをとことんなくそう! 賞味期限の短いものからとる。(スーパーの売り場)
- ・ 国産・地産地消のものを選んで買う。
- ・ 地元の野菜、旬のもの国産を買おう! 地産地消、旬産旬消。

【開発が市民にとって必要かを検討・自然環境と人間の便利な生活との共生】

- ・ 春に夙川のさくらを見に大量の人が押し寄せるのはいかがなものか。
- ・ 夙川の自然環境と人間の生活の両生が難しい
- ・ 洗剤を買う基準を「安いから」ではなく「環境にやさしい」にすべき
- ・ 夙川さくら道の松の木にトラック等の角が当たり、木が切り倒されるハメに。

【自然エネルギーを活用した「創エネ西宮」を全国に PR! 自然エネルギーへのシフト】

- ・ どういう行動(個人)をしたら温暖化を防げるか具体的な PR が必要。
- ・ 電動バイクに乗っている。蓄電池・安く買えたら電気を作って乗りたい。
- ・ 早寝早起き、スマホもゲームも TV もそこそこに。
- ・ 地球温暖化を問題視しているのに、歯止めがかからない現実、どうすればいいのか?
- ・ モニター資料なんとかしたいと思わない人が多くてビックリ。
- ・ 今の取組では温暖化に歯止めはかからないとほとんどの人が思っている。
- ・ 省エネ、創エネが重要。市役所をはじめ学校含む市施設で太陽光発電を進められないか。



- ・ 役所・学校の屋上などで太陽光発電で自然エネルギーを使ってほしい。
- ・ 学校に太陽光発電を設置することで子供たちによりわかり易く、対策が学べるように思う。
- ・ 原発について（再稼働？）

●「身近でちょっといいなと思う、小ネタ」(黄色の付せん)

【ゴミをへらす。分別、リユース活動 SDGs を西宮に】

- ・ 学校給食の生ゴミを畑へ……。
- ・ 学用品のリユース Shop があるとよい、制服・体操服。
- ・ サランラップ、プラゴミが出るものを極力買わない、使わない。
- ・ 電子コインマネー、SDGs に関することしたらポイント溜まる（尼崎市）
- ・ 芦屋 SDGs 拠点。
- ・ ゴミ拾いのボランティア、地域、会社など。



【地産地消】

- ・ 少し高くてもシャンプーや洗剤を自然由来にすべて切り替える。
- ・ 地域の自然環境を良くする。
- ・ 市民農園を増やして、自給率を UP、意識 UP。
- ・ スーパーで量産野菜を買うのではなく、地産地消で有機野菜を買う。
- ・ ふるさと納税の推進。

【自然エネルギーを活用した「創エネ西宮」を全国に PR！自然エネルギーへのシフト】

- ・ 西宮市が市役所や市施設を用いて太陽光発電していることを全国に発信することで「良いことを広める」とともに「西宮市の魅力を広める」。
- ・ 太陽光発電設備導入に国補助金をつねに利用することは当然として民間企業とのうまいタイアップで導入コストを減らす。出来れば無料で。
- ・ トイレの電気を勝手に消えるタイプにする。
- ・ 車を EV に。せめてハイブリッドに変えましょう。
- ・ 歩く→自転車に乗る→無理な時だけ車を使う。
- ・ エアコン設定 28℃（夏）20℃（冬）
- ・ 公用車も含めて EV、ハイブリッドカーにする。省エネ運転にする。

●「みんなでチャレンジしようと思うアイデア」(青色の付せん)

【行政主導のリユースのしくみ】

- ・ 市民リユース SHOP Open！
- ・ 畑で育った野菜 レストラン開設。
- ・ ゴミを減らすためリユースびんを使う企業等を応援する。
- ・ ゴミを出さない生活、生ゴミ→コンポスト。量り売り（過剰包装はなし）スーパー。
- ・ マナーのよい市民、ポイ捨てなど罰金！？

【知る機会 つながり・交流】

- ・ 各小学校ごとに（PTA 中心に）地域クリーン作戦しよう！年 1 回必ず参加。
- ・ 意識 UP ワークショップを市内中グルグルと！
- ・ 年 1 回家でねむっている食料品を提供。（フードロス対策）1 家庭 1 回は。
- ・ コミュニケーションとる機会を増やす。
- ・ 小学校で 4 年生位？年 1 回環境ワークショップ授業をひらく。
- ・ 市民ワークショップなど市民が自分事として環境について考える機会あり。（広報活動として）

【畑、園を増やす】

- ・ あちこちで子供たちが自然体験、作った野菜→給食へ、販売へ、食品ロスが減る。
- ・ 休耕地を募って家庭菜園を増やす。家庭菜園いっぱい西宮市。
- ・ 地域の余った土地を使って市民農園にして子供も一緒に農業をし、給食に使ったりする。

【開発が市民にとって必要かを検討・自然環境と人間の便利な生活との共生】

- ・ 朝日ビールの土地。半分商業施設にしたのは非常に残念。災害時の公園にしてほしかった。
- ・ これ以上宅地開発をせず既存の住宅用地のみ再利用する。
- ・ インフラは大切だが、これ以上自然環境をこわしてまでも、やめてほしい。
- ・ 水環境をよくする石鹼を使う（合成洗剤は下水道にも負担かかっている）

【自然エネルギーを活用した「創エネ西宮」を全国にPR！自然エネルギーへのシフト】

- ・ 太陽光、自然エネルギーを使う、活用する。
- ・ 市役所、学校等、公共施設の屋上に太陽光パネル、公用車は全てEVにする（5年後までに）
- ・ 「創エネ」西宮を全国にPRする。学校、市役所や市施設に太陽光発電設置。モデル都市：西宮



